

研究発表会 発表要旨

施設名	介護老人保健施設 サンセリテのがた
題 目	痴呆専門棟増床後の事故の発生状況とその対策 ～ 一般棟と専門棟の事故内容の検証 ～
発表者	今村 優子
共同演者	永山美穂 稲村美千代 逆瀬川みゆき 竇尺景子 時吉直子 濱田久美子 梶ヶ山加代子 藤崎理恵 西 政子 田原加代子 内村隆彦

発表要旨	
当施設の事故対策委員会は、毎月第3木曜日に定例会を持ち、施設全体のアクシデントとインシデントの集計・分析・それに伴う現場対応策の検討・改善及び職員への周知そして事故防止目標の設定及び周知を活動の軸としている。	
当施設は入所50床で開設したが、その後、痴呆高齢者の入所相談に対応する為、H14年4月に痴呆専門棟30床を増床した。その結果、事故の発生状況に明らかな変化が生じた為、専門棟増床前後での比較分析を行い、一般棟と専門棟の事故対策について検討したので報告する。	
【調査期間】：H12年7月1日～H15年12月31日	
【方 法】：一般棟における事故状況の分析（増床前及び増床後）	
：専門棟における事故状況の分析（増床後）	
：一般棟と専門棟の事故状況の比較分析（増床後）	
【結 果】・一般棟での事故発生件数…増床前（296件）増床後（222件）	
・専門棟での事故発生件数…増床後（159件）	
・増床後の事故発生状況…一般棟（発生場所「居室」が最多：全体の49.1%） （事故内容「転倒」が最多：全体の44.6%）	
・増床後の事故発生状況…専門棟（発生場所「ホール」が最多：全体の32.7%） （事故内容「転倒」が最多：全体の30.2%）	
・転倒転落アセスメントスコア（看護業務改善研究会）の比較	
：一般棟…危険度Ⅰ（2.0%）Ⅱ（36.0%）Ⅲ（60.0%）	
：専門棟…危険度Ⅰ（0.0%）Ⅱ（23.3%）Ⅲ（76.7%）	
【まとめ】一般棟と専門棟の身体状況の違いは同時に転倒・転落の危険度を反映し、事故発生に大きく関与している。専門棟の入所者は徘徊や認知力低下の程度が大きく事故のリスクは高い。また入所者の自立支援と自己実現を図ろうとすれば更にリスクは高くなる。様々な事故予防の対策を講じても発生率を顕著に低下させることは難しく、事故対策には各職員が同じ事故を再発させない自覚を強く持ち、介護手順の厳守、また行動範囲を制限することなく安全な療養環境を整備する必要性があることを再認識した。	